

# 田んぼダムによる洪水防止 ～水害に強い地域づくりを目指して～

## 一洪水防止機能一

### 新潟県（農地部）



洪水を防止・軽減する水田  
(新潟県村上市神林)

新潟県は、低平地が多く、以前から大雨が降ると洪水などの被害を受けることが多かった。

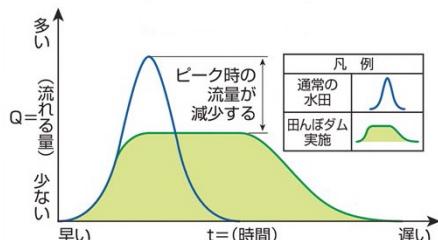
かみはやしむら  
平成14年に旧神林村（村上市）で下流域の集落から上流域の集落に呼びかけ、上流の水田に雨水をためる「田んぼダム」の取組が始まった。水田の洪水防止機能※を強化するこの取組は年々拡大しており、令和2年度は新潟県内17市町村約1万6千haで取り組まれている。



新潟県村上市ほか16市町村

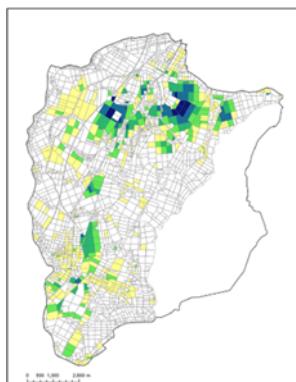
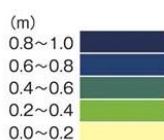
※ 水田の洪水防止機能とは  
水田に一時的に雨水をため徐々に排水することで洪水を防止・軽減する機能。

雨水の流出抑制イメージ図

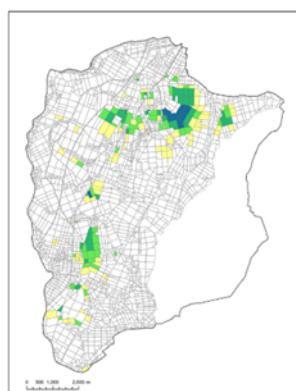
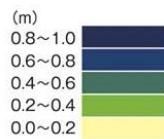


見附市貝喰川流域のシミュレーション事例

田んぼダムを  
実施しない場合



田んぼダムを  
実施した場合



### 【洪水防止】

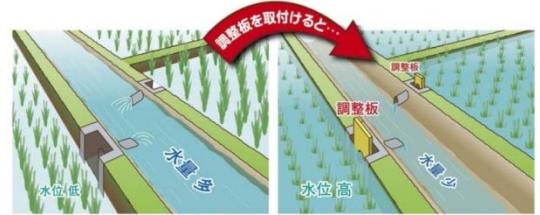
「田んぼダム」は、洪水防止機能を強化するため、水田の排水口に調整板などを設置して水の流出抑制を行い、雨水を一時的に水田にため徐々に排水することで洪水を防止・軽減する取組。これにより、多くの農地・農作物への浸水被害防止の他、住宅等への洪水被害軽減も期待できる。

見附市貝喰川流域の浸水シミュレーション（新潟県）の結果、田んぼダムを実施することで、約59%浸水面積が減少し、豪雨当日の洪水被害を軽減させることができることが明らかとなっている。

### 【地域社会の振興】

田んぼダム活動を集落全体で取り組むことにより、農家と非農家の連携を深め、地域の防災意識の啓発が図られている。

新潟県では、関係機関との情報共有を図りながら、多面的機能支払交付金による取組の推進等、地域への普及啓発を進め、田んぼダムの拡大を図り、水害に強い地域づくりを目指している。



《新潟県農村環境課ホームページ》  
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/nousonkankyo/tanbodam.html>